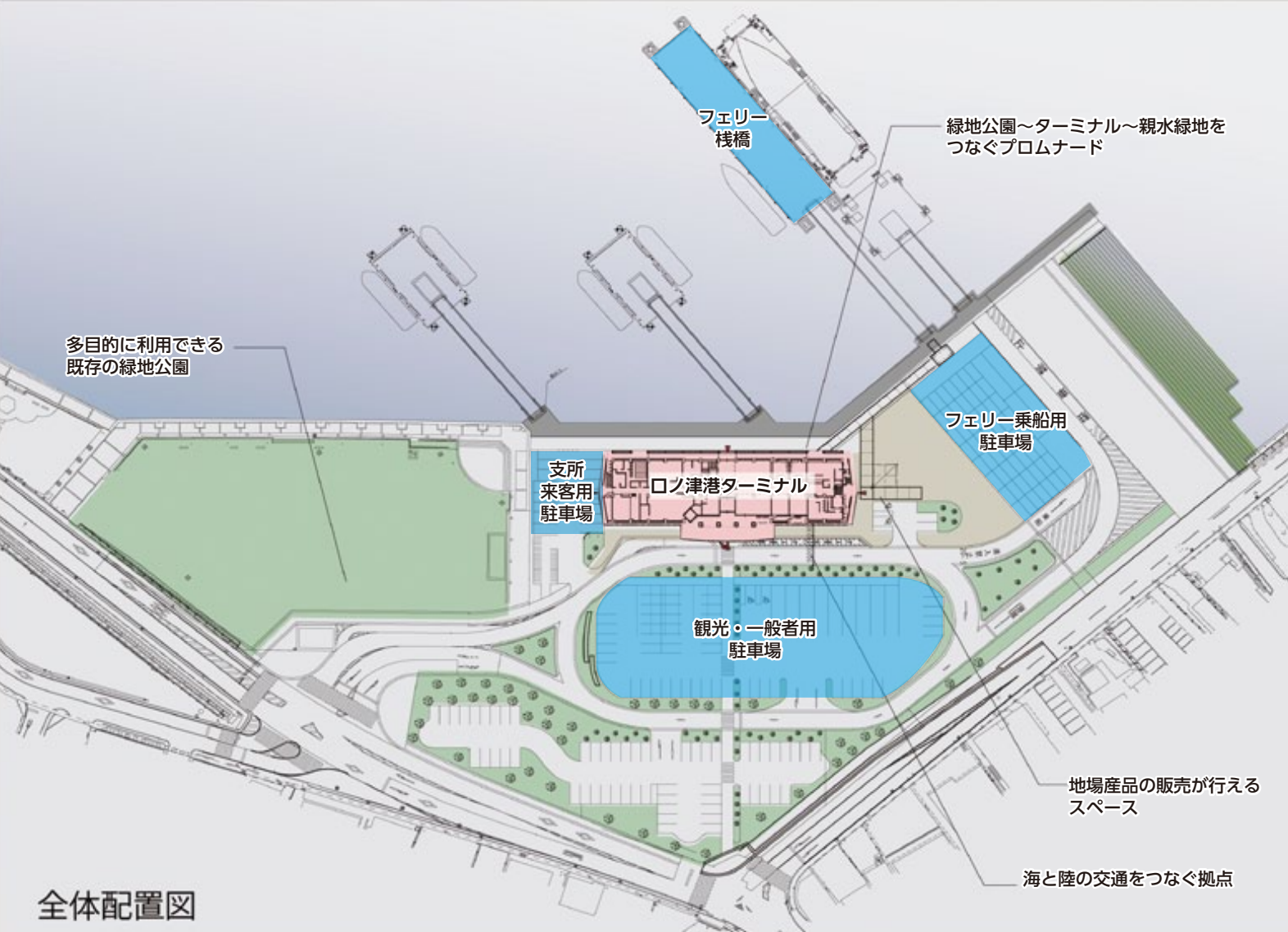




全体配置図

◎基本設計の概要

外 構

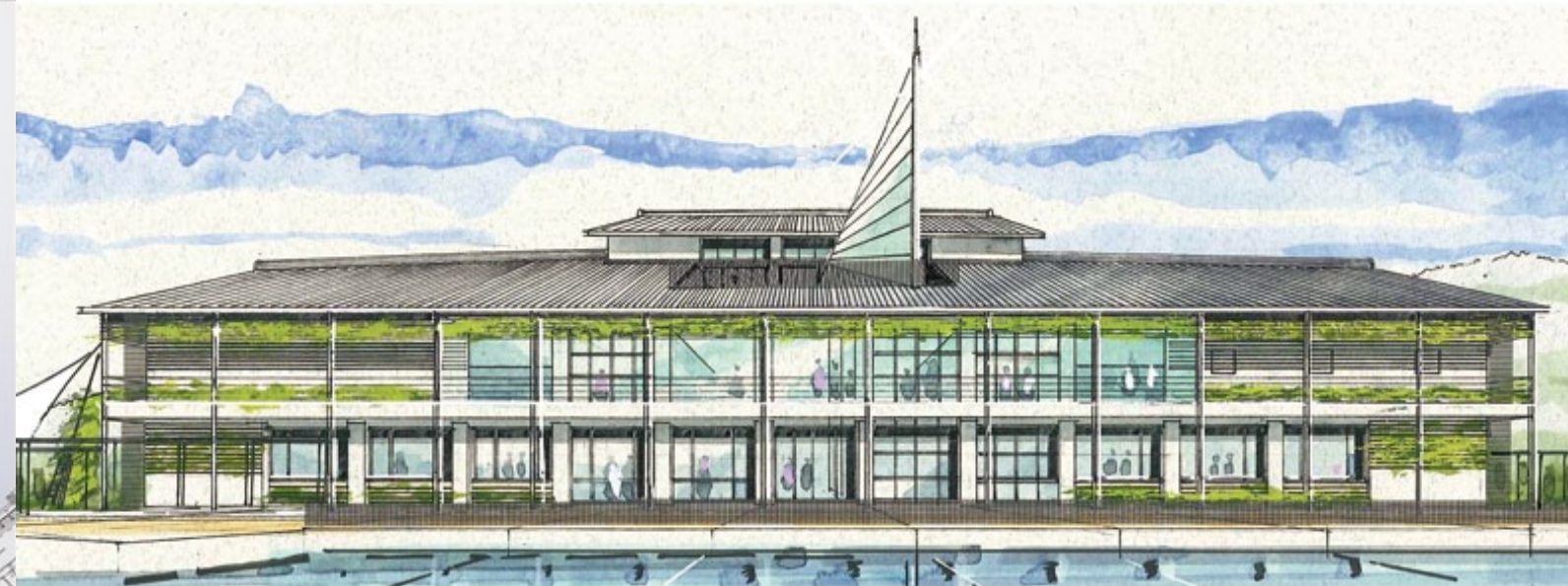
- 緑地公園横国道側から市道町早崎循環線方面部分を約16,000㎡埋め立てます。
- 現状の緑地公園と連続して繋がり、海側から棧橋が連なる海沿いのプロムナード（遊歩道）ゾーンを形成します。
- ターミナル中央には観光客・一般駐車場、左側には口之津支所の来客者などの駐車場、右側には簡単なイベントや地元の農産物や魚介類の販売が可能な物産スペースを設置。その右奥側がフェリー乗船用駐車場となります。



現在の口ノ津港ターミナル

建 物

- 鉄筋コンクリート造、2階建て、屋根は日本瓦葺、基礎は既製コンクリート杭です。
- 安全面では、想定できる地震や津波に十分対応できる構造にしています。
- 1階は左側に口之津支所、右側にターミナルを配置します。
- ターミナルはフェリーだけでなくバスターミナルや遊覧船のターミナルとしての機能も併せ持ち、また、観光案内、さらには土産品などの売店や軽食処も併設します。
- 2階は、口之津歴史資料館の展示スペースとして、口之津が海の玄関口として発展してきた歴史を時代ごとに展示します。
- 屋根に配置する三角形は船の帆をイメージし、船の航路の目印となるランドマークとして夜はライトアップもできるようにしています。
- 玄関側は軒先や庇を大きく道路側へ突き出すことによって、雨の日でも、バスや車からの乗り降りする人や歩道を歩く人も濡れないような構造となっています。



外観のイメージ



口ノ津港



住民説明会の様子

7月20日、口之津公民館で「口ノ津港ターミナル基本設計」の住民説明会を開催しました。

口ノ津港の再整備については、平成21年度からこれまで、市と議会が一緒になって知事へ要望活動を行っており、平成24年度には、計画を具現化するために「口之津みなとまちづくり協議会」を設置し、有識者の皆さんからご意見を頂くなど、約5年の歳月をかけ取り組んでまいりました。その結果、平成26年度県の新規事業に採択され、平成27年度から事業に着手、今回、基本設計が決定しました。

施設はフェリーやバスなどのターミナル機能はもちろんのこと、「口之津支所」「口之津歴史資料館」「観光情報、物産販売」など地域住民の窓口や情報発信の交流拠点としての機能も併せ持つ予定で、平成31年度中の完成、供用開始を目指しています。



特集

海の玄関口 口ノ津港ターミナル基本設計が決定